

情報公開文書

研究の名称	マイクロフックトラベクトミー施行後、毛様体剥離が遷延した症例の検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 眼科 林 篤志
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山大学附属病院で2018年4月から2022年6月までにマイクロフックトラベクトミーを施行し、施行後3カ月以内に前眼部OCTが撮影できた患者さん</p> <p>【研究の目的・意義】 マイクロフックトラベクトミーは眼圧下降において有効な術式ですが、その反面毛様体剥離といった合併症が知られています。毛様体剥離は自然に改善することが多いのですが中には毛様体剥離が長引いてしまい、視力低下や眼圧を上昇させる治療が必要になることがあります。今回我々は当院でマイクロフックトラベクトミーを行った患者の診療録を後ろ向きに調査し、その後の毛様体剥離の頻度や治療経過を検討します。緑内障に対するマイクロフックトラベクトミーの毛様体剥離の頻度や治療経過を検討することでマイクロフックトラベクトミーを施行することで毛様体剥離がどの程度起こりうるか、今後治療を行う患者さんに対して当院での術後成績を説明する手助けになります</p> <p>【研究の方法】 富山大学附属病院で2018年4月から2022年6月までに富山大学でマイクロフックトラベクトミーを施行し、施行後3カ月以内に前眼部OCTが撮影できた患者さんの診療録から術前術後の毛様体剥離の有無、眼圧、視力、前眼部・後眼部の状態、転帰を確認します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2025年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 論文掲載を予定しています。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>主要評価項目：遷延した術後の毛様体剥離頻度 副次的評価項目：視力、眼圧 他機関への情報の提供：無</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	研究責任者：富山大学附属病院 眼科 教授 林 篤志

<p>研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口</p>	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む) を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 眼科医局 076-434-7363</p> <p>FAX 076 - 434 - 5037</p> <p>E-mail otsuka@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 富山大学附属病院眼科 大塚光哉</p> <p>研究対象者等からの相談窓口 電話対応</p>
---------------------------------	--